

第2次田川市男女共同参画プラン(前期計画)進捗状況

基本目標	働く場において男女がともに参画し、活躍する	担当課			
基本取組	働く場における男女共同参画の推進	子育て支援課			
施策の方向	仕事と子育て・介護の両立支援				
具体的施策	病児・病後児保育事業				
事業内容	子どもが病気のときに、仕事などで家庭での保育ができない場合に、専用施設で一時的に保育を実施する。				
事業実績(平成29年度)	延べ約200人を専用施設で一時的に保育した。				
成果指標		基準値	実績値	目標値	進捗状況
平成29年度	病児・病後児保育 利用希望者の利用率(%)	100	100	100	A
平成30年度		100	—	100	
活動指標		基準値	実績値	目標値	進捗状況
平成29年度	病児・病後児保育 延べ利用児童数(人)	225	199	230	C
平成30年度		225	—	230	
成果・課題・今後の方向性					今後の方向性
感染症の発生动向などにより、利用時期が偏る傾向がある。利用手続きの改善など、利便性の向上を図るとともに、効率的で柔軟な体制を確保していくことが必要である。今後も、安心して子育てができる環境を整えるため、事業を継続していく。					継続
推進委員会コメント			審議会コメント		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標がC、成果指標がAとなっているので、活動と成果が関連していないのではないかと。利用児童数が減少することは悪いことではない。成果指標がAなので、利用したい人は利用できている。 施設の周知を活動指標にすべきである。 利用率を成果指標にしたなら、際限なく受け入れ人数を増やしていくことになるのではないかと。これは今後の課題としたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用希望者の利用率を成果指標とすることを了承。 活動指標がC、成果指標がAということはある。質と量が違うのは当然である。 		

基本目標	地域社会において、男女が支え合う	担当課			
基本取組	地域における男女共同参画の推進	安全安心まちづくり課			
施策の方向	防災活動における男女共同参画の推進				
具体的施策	地域における防災活動(訓練・研修など)への女性参加の促進				
事業内容	日頃から保健センターや保育所、小中学校などと連携し、妊産婦や子どもたちの保護者などに対して防災知識の普及や訓練を実施することで、地域の防災活動への女性参加を促進する。				
事業実績(平成29年度)	【防災訓練の実施地区と参加者数】 中央校区 48人、後藤寺校区 40人、西本町区 47人、鎮西校区 241人(中学校合同)、奈良区 50人、伊田校区(2回実施) 187人 ※女性の参加者は約3割				
成果指標		基準値	実績値	目標値	進捗状況
平成29年度	主に女性を対象とした避難訓練等参加者数(人)	0	0	32	—
平成30年度	市主催・共催の防災活動(訓練・研修など)に参加した女性の割合(%)	30	—	35	
活動指標		基準値	実績値	目標値	進捗状況
平成29年度	主に女性を対象とした避難訓練等実施回数(回)	0	0	1	—
平成30年度	市主催・共催の防災活動(訓練・研修など)の実施回数(回)	7	—	7	
成果・課題・今後の方向性					今後の方向性
上記のとおり平成30年度は各指標の見直しを行い、防災活動の参加者を女性に限定しないこととした。					見直し
避難所運営において特に女性の視点が必要となるため、男女共同参画推進室と連携して、マニュアルの作成と訓練を実施し、女性の参加者を増加させたい。					
推進委員会コメント			審議会コメント		
平成29年度	成果指標と活動指標の見直しについて了承。		<ul style="list-style-type: none"> 防災活動の実施回数を増やすだけでは、新規参加者は増えないであろう。日時の認知と市民への当事者意識を刺激させる方法を検討することが必要。 防災に関する資料の中に、参加者が興味を持つ内容を盛り込み、それを配付することで参加へのきっかけとする。 小学校の保護者会や幼稚園のイベントの後に説明会を実施することで確実な認知を促進するように努める。 		

※「第2次田川市男女共同参画プラン(前期計画)」全体の報告書は、男女共同参画センターゆめっせで閲覧できます。また、市ホームページにも内容を掲載しています。

◆問い合わせ 人権・同和対策課 男女共同参画推進室(☎85-7134)

男女がともに認め合い 互いに支え合い 自分らしく生きる

第2次田川市男女共同参画プラン(前期計画)の推進状況をお知らせします

市では、男女共同参画社会の実現に向けて、平成29年度から5年間の計画「第2次田川市男女共同参画プラン(前期計画)」を策定し、平成33年度までこの計画に基づいて66の具体的施策を推進しています。

数値目標と評価で進捗を管理

計画を推進するため、各施策に指標(数値目標)を設定し、進捗管理シートを作成。シートを基に結果を評価し、見直しや改善に取り組んでいます。評価は、担当部署や庁内組織「男女共同参画推進委員会」のほか、外部組織である「男女共同参画審議会(会長：福岡県立大学井上奈美子准教授)」が実施。職員による自己評価だけでなく、市民目線の外部評価も取り入れています。

※主な具体的施策や評価結果などは9ページをご覧ください。

進捗状況の判定基準

判定	判定基準
A	実績値が目標値に達している。
B	実績値が基準値から好転しているが、目標値に達していない。
C	実績値が基準値から横ばいまたは悪化しており、目標値に達していない。
—	未実施・評価不可(事業未実施または市民意識調査などが未実施で評価不可のもの)

※「基準値」とは平成27年度または28年度の現状値



田川市男女共同参画審議会の主な意見

○個別評価

具体的施策	審議会の意見
[基本目標1] 働く場において男女がともに参画し、活躍する	
子育て女性の就職相談	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果として、相談件数の増加を目指すべきか、減少を目指すべきかという問題は、増加を目指す方がよい。相談したい人が埋もれることなく、相談できる受け入れ体制が必要。 相談件数を評価するのではなく、相談窓口をどのように周知して、どんな対応をしたかということが重要である。評価の視点がずれている。
[基本目標3] 男女がともに健やかに安心して暮らす	
性と生殖の健康と権利に関する意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療は個人で対応する人が多いので、公的なところで相談ができるという認識が低い。不妊治療助成金があることを周知することはよいことである。 成果指標(不妊治療助成金交付件数)の数値を見直す場合、その数値が妥当かどうか審議会で判断することは難しい。交付件数よりも事業内容が知りたい。
[基本目標4] 一人ひとりを尊重し、男女共同参画意識が浸透する	
人権・同和教育の推進	基本目標と成果指標の関係がわかりにくいので、指標を見直してほしい。

○総合評価

項目	審議会の意見
指標	<ul style="list-style-type: none"> 指標を設けることで、ある程度実態が把握できた。 各施策に指標を設けることで、男女共同参画の意識を浸透させるという狙いがあると思うが、事業を実施している担当課にその認識が低く、感覚のずれがある。 指標が男女共同参画の視点と合っていないので見直してほしい。このまま継続しても男女共同参画は進まない。 指標の数値は男女共同参画に関わることに着目した数値にしてほしい。
事業内容	男女共同参画を推進するための事業内容であるかどうかの検討が必要である。無理やり既存事業をあてはめているとしか思えないものがある。審議会では男女共同参画の推進のために実施した事業を評価すべきだが、現状はそうっていない。
審議会の役割	<ul style="list-style-type: none"> 審議会は指標の数値で進捗状況を評価するのではなく、どうすれば事業内容に男女共同参画の視点が盛り込めるかなどについて議論した方がよい。審議会でも指標の数値確認をしても意味がない。 審議会のアイデアを担当課に活用してもらいたい。アイデアを提案するのは審議会の目的の1つである。 担当課同席のうえ、ヒアリングを行い、協議する場を作りたい。